

私たちの「仲間たち」

300

緊張すると頭がとんがる

私たちの「仲間たち」も今回で三百回。ナミの数字ではない。単純計算しても二十五年、毎年私には四回程度担当が回ってくるので約七十五回書いたことになる。初めのころは、私の書いたものなど読んでくれる人がいるのだろうか、心配したこともあった。でも知人から「読んでますよ」と声をかけてもらおうと本当にうれしくなったものだ。編集担当からは、「三百回をひと区切りに一旦休載し、別の企画を実施してみたい」という方針を聞いているので、これが休載前最後の「仲間たち」になる。



▲鳩山の動植物 カシラダカ (ホオジロ科)

十一月の中ごろ、久しぶりに石坂の森を一周した。森の保全管理にも関係しているので、見回りは大切な仕事でもある。田んぼ通りに入ると、休耕田のどん詰まりの枯草の固まったところまで来ると、スズメぐらいの大きさの鳥が十数羽、クモの子を散らすように飛び上がった。カシラダカである。

枯草の中突っ込んで、草の実などをついばんでいたところに私が近づいたので驚いたのだろうが、こちらも急に飛ばれてびっくりした。カシラダカを識別するときはこの飛び方を見逃さないことだ。そして木に止まったら頭に注意する。三角形に見えたらカシラダカである。緊張したり興奮すると冠羽(頭部の羽毛)が逆立ってとんがって見える。冬になると渡ってきて、しばらく田んぼや枯れた草地などで餌をあさる。ホオジロの仲間でもある。春の兆しが見えると、いつの間にか姿が見えなくなる。地味だが冬の山里には欠かせない脇役である。二十五年間、病氣入院で一回ぐらい休んだかもしれないが、何とか担当の役目は果たせたかと思えます。これはひとえに付き合っていたいただいた読者の皆さんの「我慢」に負うところが大きいと思えます。長いこと本当にありがとうございました。また機会がありましたら、よろしく願います。

(写真／小倉憲貴・文／鈴木伸)

ご愛読ありがとうございました

私たちの「仲間たち」は、おかげさまで300回を迎えました。広報はとやまでは、これをひとつの節目として、本連載を一旦休載とします。

2月号からは新たな紙面企画「伝承鳩～文字でつなぐ人の心」を開始します。

文字には人の心を動かす力があります。多くの方や次世代へ語り継ぎたい想いを、広報紙で伝承していきませんか。詳細は26頁をご覧ください。

人口と世帯

12月1日現在、()は対前月比

人口	14,497人	(± 0)
男	7,158人	(- 7)
女	7,339人	(+ 7)
世帯	5,877世帯	(- 7)
11月の出生数	3人	

1月の納税・納付

町・県民税	(第4期)
国民健康保険税	(第7期)
後期高齢者医療保険料	(第7期)
介護保険料	(第7期)

●納期限を過ぎないように、コンビニ納付や口座振替をご利用ください。

編集室

新年あけましておめでとうございます。今月号では、新しい年に始める、健康のための新習慣をご提案しました。ご紹介したウォーキングや体操以外にも、元気になる新習慣はたくさんあると思います。私自身は、昨年からプライベートで新たな挑戦を始めました。今年も、楽しみな時間を増やしていきたいものです。皆さまにとっても、楽しい時間が増える一年でありますようお願いいたします。Ⓚ

広報写真で振り返る町の歴史 ⑫



平成8年6月1日
鳩山町農村公園オープン
農業とふれあいを育む場としてオープンした農村公園。2日にわたり記念イベントが行われ、模擬店や青空市、体験農園が開かれたほか、水辺の広場で子どもたちが元気よく遊んだ様子が伝えられています。【平成8年7月(No.287)号より】